

学校図書館の充実をめざし 司書と担任が協働で行う授業作り

学校司書 田沼恵美子
司書教諭 野原隆弘

学校図書館に関する学習指導要領の記述

(11) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童又は生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること

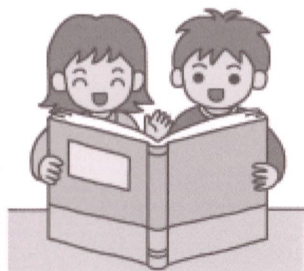
「学校司書・司書教諭の役割」 「協働でねらうこと」

- ・担任や授業担当の意図を十分にくみ取る
- ・学校司書は授業のねらいに添って資料の提案をする
- ・児童・生徒の欲している情報を知る
- ・学校図書館の利用で本が好きになる

各担任とどう協働すると効果的なのか



＜地域資源の活用へ＞
地域の公共図書館等へ出かける準備となる
児童・生徒の学びを環境設定と共に支援する



授業の実際

①学習計画を話し合う

導入段階



②学校司書の専門性の発揮

グループ 展開



③授業の実際とまとめ

司書まとめ



協働でここが変わる

- ・学習ポイントの押さえ
- ・学習のまとめ方を提案
- ・教員だけの一方通行ではなく、図鑑等から情報を得てまとめる方法伝授
- ・協働授業反省が次への学習ステップとなる
- ・授業自体に柔軟性が表れる



学校図書館が新たな学びの場となる



学習内容の深まり